

IV. 自由回答の一覧

1. 自由回答の記入状況

男女共同参画実現に向けて、意見や要望等を求めたところ、合計91人から、121件の回答が得られた。

(1) 記述者数

年代	性別		計
	男性	女性	
20歳代	2	2	4
30歳代	4	3	7
40歳代	4	8	12
50歳代	11	13	24
60～64歳	3	3	6
65歳以上	17	21	38
合計	41	50	91

2. 分野別意見数

回答者によっては、複数の意見を記述している者もいるため、意見件数と記述者数は一致しない。

分野	件数
1. 家庭生活における男女共同参画についての意見	9
2. 職場における男女共同参画についての意見	14
3. 仕事と家庭生活、地域活動、市民活動の両立についての意見	7
4. 子育て（子どもの教育）についての意見	2
5. 男女共同参画社会づくりのための法律や施策についての意見	57
6. その他市政一般についての意見	17
7. その他	13
8. 分からない	2
合計	121

3. 自由意見（要約）一部抜粋

●家庭生活について

- ◇ 「男は仕事，女は家庭」という環境で育ったので，就職の頃に男女雇用機会均等法が施行され戸惑った。今の20代30代の世代は学校で男女平等の教育を受けているためか，家事に抵抗がない男性が多いようだが，「男のくせに」と批判する親世代向けの教育が必要なのでは。（女性・40歳代）
- ◇ 若い人は男女共同が進んでいるが，男は台所に入らざるべしと教えられている男性は今更出来ず，配偶者が亡くなった場合に苦労すると思う。（女性・65歳以上）
- ◇ 主人や，主人の父，主人の兄弟・男友人等は男尊女卑的な考え方をしている人が多く，地域的なものもあるのかと思う。女性がもっと活躍できる社会が実現できるのであれば私も協力したい。（女性・30歳代）

●職場について

- ◇ 経営者（資本側）が意識改革しないとムリだろう。罰金をとって企業にライフワークバランスを徹底するべき。（女性・50歳代）
- ◇ 長時間労働をなくす，奥さんにばかり子どもの世話，介護を押しつけない等，管理職，役員の意識改革が必要だと思う。（女性・40歳代）
- ◇ 男性の育児参加はまだまだで，女がして当たり前という考えがある。企業がもっと真面目に取り組み，北欧のように意識改革してほしい。学校の教育だけでなく，職場も一体となり取り組むべき。（女性・40歳代）
- ◇ 職場での休業制度も，大企業や公務員の恵まれた環境内での話で，中小企業では難しい。（女性・50歳代）
- ◇ 我々の様な一般サラリーマンは時間外勤務手当がなければ満足のいく生活水準には到達しない。（男性・50歳代）
- ◇ 男性も残業が多く，家事・育児をする時間がとりにくいのも理解している。男性も女性も負担少なくするには，まず労働環境の改善が必要ではないかと思う。（女性・30歳代）
- ◇ 男が主たる収入を得ていると，やはり育休は収入面から取りにくい。（男性・30歳代）
- ◇ 私はシングルマザーで会社員（正社員）であり，生活は安定しており男女平等の処遇を受け，管理職を任されている。しかし50代半前で体の変調が表れて，体力的，精神的に男の方々と同じように出来ない現実を感じている。会社もやはりそういったことへの配慮が必要だと思う。（女性・40歳代）

●仕事と家庭生活，地域活動，市民活動の両立について

- ◇ 女性が家庭，子供を持ち，仕事を続ける事はとても難しいと感じる。子供が病気などで学校を休む，警報が出て学校が休みになる毎に，母親が仕事を休む事になる。父親の職場では理解してもらえない。仕事を辞めた方もおり，本当に困っている。（女性・40歳代）

- ◇ 育児中も（子育ての終わった今も）社会とのかかわりが失われてゆく淋しさを味わった。2つのものは追えないと思い込んで（思い込まされた？）家庭を選び、淋しさを感じつつ我が子の成長を夫と2人で見守った。介護した親達も今は亡く、定年退職した夫と2人になり、社会や人間のありようを考えさせられている。（女性・65歳以上）

●子育て（子どもの教育）について

- ◇ 上を見ればきりが無いが、深夜勤務、残業がなければ、子供達を高校以上の学校へ進ませることはできなかった。子供達の経済事情が良くなく、今は奨学金を親である私が返済している状態で、このままでは老後のことが心配。（男性・50歳代）

●男女共同参画社会づくりのための法律や施策について

- ◇ こんな事をしたからといって変わるのか？住みやすい呉市にしなければ男女共同参画なんて無理だ。住みにくいから働かざるをえない現状が問題ではないのか？
（男性・40歳代）
- ◇ 女性の仕事と家事は両立できるが、出産・育児か介護が加わると難しくなるのでこの2つの支援を期待する。（女性・40歳代）
- ◇ 出産は女性にしかならない為、子育て世帯に対し、もっと充実した制度・サービスを提供すべき。出産して保育園に預けられないのはありえない。7か月の子どもを4月に預けたが、呉は都心と違って待機はほぼ無いものの中途入所はまだ厳しいと感じる。
（女性・40歳代）
- ◇ 予算配分を今後の若い年齢層に当ててほしい。箱もの・高齢者への手厚いサービスは削減すべき。これからの呉市（だけではないが）を支えるのは若年層なので。
（男性・60～64歳）
- ◇ 意識改革よりもまずは外から。女性が心配なく働ける環境を作ってもらいたい。
（女性・60～64歳）
- ◇ この度このアンケートをすることによって初めて男女共同参画というものがあると知った。何かの機会に男女共同参画をもっと知ることがあればもっと知りたい。
（女性・50歳代）
- ◇ いつのまにか無くなったとならないように継続してほしい。（男性・40歳代）
- ◇ 呉市が現在取り組んでいる男女共同参画に関する施策にはどのようなものがあるのか、「市政だより」を注視しているつもりだが覚えがうすい。呉市が上記施策を広く深く進めるのであれば、いかに興味のない人々へ知らせていくかを考えてはどうか。
（男性・40歳代）
- ◇ アンケート調査だけでなく、何らかの形でフォローしてほしい。（男性・65歳以上）
- ◇ 今までの生活の中での意識は薄かったが、いろんな働きかけのおかげか、やっぱり共同共助の意識は育ち、広まっていると思う。もちろん地域差、年齢の段階によって差は大きい。（女性・65歳以上）